

裾野市公共施設等総合管理計画

第2版（2021～2025年度）

施設類型別方針 進捗管理シート

【2025年度実績】

～取組実績および今後の方針～

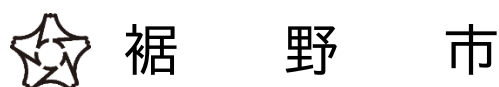
【第8章】推進体制の整備

5 計画の進行管理

本計画の進行管理にあたっては、類型別方針で掲げた実施内容を、スケジュールに基づき着実に進めるため、毎年、施設所管課に進捗報告を求め検証し、その内容を公表するなど PDCA サイクルを回し、本計画のスパイラルアップを図ります。併せて、施設所管課による個別施設計画の策定、個別事業計画の立案等を検討していきます。

道路、橋梁、上水道、下水道のインフラ資産については、個別の長寿命化計画や保全計画等に示される工程の進捗状況をチェックするとともに、必要に応じて計画の見直しを図ります。

2026年6月



裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類	総論
関係課名	公共施設経営課

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- ・ 公共施設等総合管理計画で「施設類型別マネジメント方針」を定めるとともに、毎年の進捗管理（取組み状況を公表）によりPDCAサイクルを回す。
- ・ 全庁的な公共施設マネジメントの推進を図るため、引き続き「公共施設マネジメントプロジェクトチーム（FMPT）」を開催する。
- ・ 公共建築物全体の維持補修・更新にかかる長期的な費用を把握するため、表計算ソフトによる簡易的な「公共施設等更新費用のシミュレーション」を作成する。シミュレーションを活用し、予算を平準化しつつ計画的に実施する。
- ・ 公共建築物の施設管理者による日常点検をチェックシートに基づき実施する。
- ・ 公共施設等マネジメント基金を有効に活用する。
- ・ 施設の包括管理制度の導入の可能性について、本市に市場性があるか民間事業者へのサウンディングを行う。

2. 取組実績

年度	取組実績
2021	<ul style="list-style-type: none"> ・ FMPT や行政改革推進本部を開催し、施設類型別方針を決定したうえで、「公共施設等総合管理計画」を更新した。 ・ 新たに「公共施設等マネジメント基金」を設置した。
2022	<ul style="list-style-type: none"> ・ FMPT を開催し、旧市立水泳場の跡地活用や未利用地の売却について全庁横断的に検討した。 ・ 個別施設について進捗管理を行いつつ財政計画に活用できるよう、今後15年間における「公共施設中期財政シミュレーション」を作成した。 ・ 市役所と図書館の空調改修にあたり、カーボンニュートラルシティ宣言を踏まえ、熱源方式やコスト比較について部局横断的な検討を行った。
2023	<ul style="list-style-type: none"> ・ FMPT を3回開催し、総合管理計画の周知、借地の適正化に向けた取組、個別施設の取組について協議および共有を行った。 ・ 施設所管課による施設の安全管理の重要性を啓発するとともに、所管課による自主点検を実施するた「公共施設担当者研修会」を初開催した。 ・ 2026年度からの包括施設管理委託の導入に向けて、民間事業者へ市場性を把握するため、サウンディング型市場調査を実施し、3者と対話を行った。

2024	<ul style="list-style-type: none"> • FMPT を 5 回開催し、総合管理計画の周知、借地の適正化に向けた取組、個別施設の取組について協議および共有を行った。 • 公共施設担当者研修会を開催し、施設所管課へ自主点検の実施方法を伝え、施設の安全管理の重要性を啓発した。 • 2027 年度からの包括施設管理委託の導入に向けて、市場性を把握するため、11 月に民間事業者へサウンディング（対話）型市場調査（7 者）を実施した。 • 公共施設一括 LED 化に向けて、導入可能性（費用対効果、CO2 削減効果等）を調査し、2025 年度実施に向けた準備を行った。 • 借地解消を推進するため「公共施設における用地のあり方に関する基本方針」を策定、公表した。 • 優先的検討規程策定運用支援(内閣府)を活用し、[裾野市版 PFI/PPP 優先的検討規程]のたたき台を策定した。 • 「裾野市公共施設等に関する民間提案制度」を 10 月に創設、公募の結果、公用車広告事業と庁舎マット広告事業の提案があり、契約に向けた準備を行った。 • 2025 年 2 月 13 日の財政非常事態解除にあたり、予算規模の大きい普通建設事業費（公共施設やインフラ施設）を可能な限り正確に把握するための 15 年間の整備更新見通しとして、「今後の公共施設等整備更新見通し」を策定、公表した。 • AED を 24 時間利用できるよう屋外設置（図書館と富岡支所）を行った。 • 公共施設を年間通して利用可能な「お休み処」とし、利用者が気兼ねなく電源利用ができるよう整備した。
2025	<ul style="list-style-type: none"> • FMPT を 5 回開催し、総合管理計画の周知、借地の適正化に向けた取組、個別施設の取組について協議および共有を行った。 • 公共施設担当者研修会を開催し、施設所管課へ自主点検の実施方法を伝え、施設の安全管理の重要性を啓発した。 • 2027 年度からの包括施設管理委託の導入に向けて、庁内調整、議会説明及び事業者ヒアリングを実施したが、事業規模とマネジメント経費のバランスから事業化は見送りとなった。 • 2027 年末の一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入の禁止を踏まえ、公共施設の一括 LED 化（51 施設）に着手した。 • 「公共施設における用地のあり方に関する基本方針」に基づき、借地の適正化を進めるため基本的な考え方を示した「借地解消の優先順位付け」を内規としてルール化した。

3. 今後の方針

- 包括施設管理委託の導入については、今後の財政見通しにおいて財政調整基金が一定水準で推移しはじめる 2030 年度以降を目途に再検討する。
- 2027 年末の一般照明用の蛍光灯の製造・輸出入の禁止を踏まえ、2026 年度に公共施設の一括 LED 化（51 施設）を完了する。
- 「公共施設における用地のあり方に関する基本方針」及び「借地解消の優先順位付け」に基づき、統一的に借地の適正化を進める。
- 「裾野市 PPP/PFI 手法導入優先的検討規程」及び「ガイドライン」の策定に向けて研究を進める。
- 「今後の公共施設等整備更新見通し」を毎年更新する。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類 建築 ①行政系施設	
関係課名	公共施設経営課、上下水道経営課、深良支所、富岡支所、須山支所、駅周辺整備課、危機管理課

(対象施設)

裾野市役所（行政課）、水道庁舎（上下水道経営課）、深良支所（深良支所）、富岡支所（富岡支所）、須山支所（須山支所）、裾野駅西土地地区画整理事務所（区画整理課）、富士山南東消防組合裾野消防署・伊豆島田分署・須山分遣所、消防団詰所9（危機管理課）

	施設名	所在地	所管課	床面積	床面積	代表建築年	経過年	地区	借地	備考
				(2016)	(2020)					
市庁舎	裾野市役所	佐野1059	行政課	6,750.82	6,750.82	1976	44	西		
	水道庁舎	深良215-22	上下水道経営課	328.46	328.46	1991	30	深良	一部借地	
	深良支所	深良657	深良支所	78.63	78.63	1979	41	深良		
	富岡支所	御宿680-1	富岡支所	23.19	23.19	1978	42	富岡		
	須山支所	須山1593-12	須山支所	23.04	23.04	1980	40	須山		
	裾野駅西土地地区画整理事務所	佐野1068-2	区画整理課	444.87	444.87	1975	46	西		
	勤労青少年ホーム	佐野784-5	行政課	0.00	0.00					2020解体
消防	富士山南東消防組合 裾野消防署	石脇515	危機管理課	3,754.75	3,754.75	2002	19	西	一部借地	
	富士山南東消防組合 裾野消防署茶畑分遣所	茶畑850-3	危機管理課	0.00	0.00					2020解体
	富士山南東消防組合 裾野消防署伊豆島田分署	伊豆島田343-1	危機管理課	0.00	955.63	2020	1	西		2020新設
	富士山南東消防組合 裾野消防署須山分遣所	須山1545-8	危機管理課	414.49	414.49	2009	12	須山		
消防団詰所	消防団 東分団茶畑詰所	茶畑593-11	危機管理課	133.66	133.66	2008	12	東	一部借地	
	消防団 東分団平松詰所	平松531-2	危機管理課	129.78	129.78	2009	11	東	一部借地	
	消防団 西分団詰所	佐野1438-4	危機管理課	133.70	133.70	1983	37	西	全部借地	
	消防団 西分団小南班詰所	伊豆島田839-2	危機管理課	74.88	74.88	1995	25	西		
	消防団 深良分団詰所	深良659-3	危機管理課	124.32	124.32	1995	25	深良		
	消防団 富岡分団詰所	御宿614-1	危機管理課	131.04	131.04	2010	10	富岡	全部借地	
	消防団 富岡分団今里班詰所	今里806	危機管理課	59.62	59.62	1986	34	富岡		
	消防団 富岡分団下和田班詰所	下和田1035-3	危機管理課	71.20	71.20	1994	26	富岡		
	消防団 須山分団詰所	須山572-8	危機管理課	118.82	118.82	1994	26	須山		
①行政系施設合計				13,818.34	13,750.90					

(△0.5%)

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- 市庁舎機能は、DX(デジタル・トランスフォーメーション)による変化を見極めつつ、集約化による施設の有効利用や床面積の縮減を検討する。
- 裾野市役所で改修が必要となっている空調設備や照明設備は、改修費用を事業者提案による省エネ化に伴う光熱水費の削減分で賄える「ESCO 事業」による実施が可能であるか検討する。併せて、図書館との同時実施も検討する。
- 水道庁舎は、長寿命化せず最低限の維持補修を行い、将来的に他の行政系施設と複合化する。
- 裾野駅西土地地区画整理事務所は、事業の進捗をみながら最低限の維持修繕を行い、施行進捗に合わせて解体する。
- 富士山南東消防組合へ無償貸付している施設の在り方については、「富士山南東消防組合公共施設等総合管理計画」の基本的な方針を踏まえ、必要に応じ富士山南東消防組合及び構成市町と協議を行う。
- 消防団詰所は、施設の更新時期にあわせた集約化の可能性を検討する。

2. 取組実績

施設	取組実績
裾野市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021～2022年度：空調設備の改修について、熱源方式・補助金活用・調達方式・ESCOサービスの導入について、(一社)ESCO・エネルギーマネジメント推進協会に加盟する民間事業者へプレサウンディングを行ったが、事業として成立しないことが判明した。 ・ 2023年度空調設備を電気式で行う方針とし設計発注を予定していたが機器の故障に伴い工期を短縮するため再検討するなか、能登半島地震が発生、空調更新と併せて非常用発電の増強を検討する方針とした。また、照明器具について、カーボンニュートラルシティ宣言に基づく2050年までの温室効果ガス排出の実質ゼロに向けLED化を行った。 ・ 2024年度：空調設備の更新と非常用発電の増強について、2方針に絞り、設備事業者等よりサウンディング型市場調査を実施した。市役所駐車場の慢性的な不足を解消するため、未利用地である市有地を活用・集約のうえ、解消を図った。 ・ 2025年度：先進自治体の防災機能に対する設備水準の事例調査や防災部局との協議を実施した結果、空調熱源は「LPガス+都市ガス」の併用（燃料の2系統化）とし、既存燃料タンクの転用により72時間の燃料備蓄を確保するとともに、災害時における電源供給先の見直しによるレジリエンス強化を図る方針とした。
水道庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年度：水道部および水道料金お客さまセンターを本庁舎へ集約、水道庁舎を用途廃止した。 ・ 2024年度：土地売却に向けて敷地の測量および官地の払下げ等をおこなった。 ・ 2025年度：県による深良交番の解体工事が行われ、一体敷地として売却する方針とした。併せて、廃川処理の告示など官地の処理等を引き続き実施した。また、敷地内にある県道街渠柵を道路区域内に移転することについて、県と協議を行った。
深良支所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021～2024年度：適切な維持管理をおこなった。 ・ 2025年度：適切な維持管理を行い、安全利用の確保に努めた。
富岡支所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021～2024年度：適切な維持管理をおこなった。 ・ 2025年度：屋根防水・空調設備の更新工事を行った。その他適切な維持管理を行い、安全利用の確保に努めた。
須山支所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021～2024年度：適切な維持管理をおこなった。 ・ 2023年度：玄関天井照明器具修繕(LED)を行った。 ・ 2025年度：適切な維持管理を行い、安全利用の確保に努めた。
裾野駅西土地区画整理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2022年度：行政系施設集約化の取組として事務所を本庁舎に集約した。 ・ 2023年度：相談者の利便性の向上と行政運営コストの削減を目的とし

事務所（生活福祉相談センター）	<p>て、駅周辺にある3つの相談センター（生活自立支援センター、消費生活センター、地域包括支援センター）を旧建物に集約し、生活福祉相談センターとして開設した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2024年度：センター集約の成果を検証した。 ・ 2025年度：関係機関と協議し移転時期を1年延長し、再移転に向けた移転先の比較検討を行ったうえで、2026年度の移転のための予算化を行った。
消防団詰所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021～2024年度：適切な維持管理をおこなった。 ・ 2025年度：裾野市公共施設LED照明器具賃貸借事業（公共施設経営課）により東分団茶畑詰所、東分団平松詰所、西分団小南班詰所、深良分団詰所、富岡分団詰所、富岡分団今里班詰所、富岡分団下和田班詰所及び須山分団詰所の照明をLED化した。 ・ 2025年度：適切な維持管理を行い、消防団機能の維持を図った。

3. 今後の方針

- ・ 裾野市役所の空調改修とレジリエンス強化は、2026年度に実施設計、2027-2028年度に工事を行う。
- ・ 水道庁舎跡地は深良交番跡地と一体敷地として、2026年度上半期に鑑定評価を行い、2026年度下半期に売却を行う。
- ・ 三支所は市民が安全安心に使用できるよう、地区コミュニティセンターの適切な維持管理を行う。
- ・ 生活福祉相談センターは、2026年度に駅周辺の利便性の高い民間テナントに再移転する。建物は2026年度上半期に解体設計、2026年度下半期に解体工事を行い、事業用地を更地で返還する。
- ・ 消防団詰所について、適切な維持管理を行い、各分団の継続的な活動を維持する。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類	建築 ②保健・福祉施設
関係課名	健康推進課、子育て支援課、総合福祉課、産業観光スポーツ課

(対象施設)

福祉保健会館（健康推進課）、ヘルシーパーク裾野（健康推進課）、福祉センター石脇（障がい福祉課）、シルバーワークプラザ（社会福祉課）

施設名	所在地	所管課	床面積 (2016) 計画策定時	床面積 (2020) 現状値	代表建築年	経過年	地区	借地	備考
福祉保健会館	石脇524-1	健康推進課	4,356.52	4,356.52	1994	26	西	一部借地	
ヘルシーパーク裾野	須山3408	健康推進課	2,886.92	2,886.92	2002	18	須山	一部借地	
福祉センター佐野	佐野1466-1	社会福祉課	672.48	0.00					2020解体
福祉センター石脇	石脇208-1	障がい福祉課	717.30	717.30	2011	9	西		
いずみ荘デイサービスセンター	茶畑302-1	社会福祉課	257.75	0.00					2021譲渡
須山デイサービスセンター	須山1632-98	社会福祉課	189.00	0.00					2021譲渡
シルバーワークプラザ	茶畑301-2	社会福祉課	465.17	465.17	2001	19	東		
②保健・福祉施設合計			9,545.14	8,425.91					(△11.7%)

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- 福祉保健会館は、福祉機能および子育て支援機能の拠点として集約化を進める。また、駐車場の確保を含めた借地の解消の方向性と、入浴施設「せせらぎの湯」を含む老人福祉センター機能の在り方を検討する。
- ヘルシーパーク裾野は、民間でもサービスの提供が可能であることから、長期的な維持管理・運営コストを検証し、市の財源を投入しなくても運営が可能な指定管理者等を選定できるよう検討・協議を行う。
- 福祉センター石脇は、将来的な民間譲渡の可能性を検討する。併せて、隣接する市有地残地の有効活用も含めて検討する。
- シルバーワークプラザは、「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」第五条の規定により市がシルバー人材センターの拠点確保を支援する必要があるが、拠点は市有施設に限定されていないため、各形態の費用や利便性を比較し今後の在り方を検討する。

2. 取組実績

施設	取組実績
福祉保健会館	<ul style="list-style-type: none"> 2021～2022年度：施設の老朽化に伴い機能のあり方について、FMPTで修繕・移設・廃止を検討した。 2023年度：老人クラブ連合会からの要望とFMPTの提言を受け、同施設の利用者（高齢者）へアンケート調査を行った結果、利用者に必要なサービスはヘルシーパーク裾野でも可能と判断、一部

	<p>機能を移し老人福祉センターを 2023 年度末で廃止した。また、廃止した老人福祉センターの改修によるこども家庭センター機能の充実を検討するため、国（内閣府）の「PPP/PFI 案件形成調査検討支援」を受け、今後の検討方針の具体化や事業案件化に向けた前提条件を整理・検討するとともに、静岡県官民連携実践塾（静岡県官民連携地域プラットフォーム）のサウンディング調査を行った。また、駿東歯科医師会事務所に行政財産の目的外使用許可する検討を進め、2025 年度から会館内の旧印刷製本室を事務所使用させることにより、土地・建物使用料及び必要経費分担金の収入確保を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025 年度：駿東歯科医師会事務所から土地・建物使用料の収入を得ていることを理由に、社会福祉協議会にも同様に会館借地料の負担を求め、2025 年度請求分(2024 年実績分)より社協分の土地使用料についても請求することの承諾を得た。築 30 年経過し老朽化したエレベーターを制御リニューアル工事(かご本体は替えずに油圧ユニット等の制御機能部分のみを部品交換)により実施することを決定し事業者を選定した。老人福祉センター廃止後の施設利用のあり方等について、老人クラブ側と協議を行った。親子・多世代交流拠点の整備に向けて関係各課と庁内ワークショップを実施し、整備内容を検討した。
ヘルシーパーク裾野	<ul style="list-style-type: none"> 2021 年度：指定管理者選定にかかる公募・現地説明会を実施した。 2022 年度：指定管理者を公募し選定審査を実施した結果、事業者の指定及び施設営業の再開を果たした(8 月プレオープン、10 月正式オープン)。民間での運営について検討するため、指定管理期間を 2025 年度までとした。2023 年 1 月に健康福祉部から産業振興部に移管した。 2023 年度：選定評価委員会による外部評価を実施し、評価結果を公開した。 2024 年度：文教施設における多様な PPP/PFI の先導的開発事による支援(文科省)を受け、「ヘルシーパーク裾野・運動公園・梅の里の一体的な民間活用」について検討、国県事業を活用しサウンディング(対話)型市場調査を計 3 回行うなど、民間活力を生かした活用について意見を求めると共に、民間譲渡やコンセッション方式を導入する場合の課題の把握及び課題解決に向けた今後の方針を検討した。その結果、2025～2027 年度の間は指定管理者による管理を行い、2028 年度以降については民間活力を生かした新たな運営に移行する方針を明確にした。また、あらたな指定管理者を公募のうえ選定審査を実施、2025 年度から 2027 年度ま

	<p>での3年間の指定管理者を選定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年度:新たな指定管理者による運営を開始した。建築から25年が経過したため、老朽化した施設の劣化状況調査を実施し、現状を把握すると共に今後の施設の在り方を検討するため、施設改修の概算工事費を算出した。「ヘルシーパーク裾野・裾野市運動公園」に関する民間活力導入可能性調査として、詳細なインフォメーションパッケージを作成し、現地説明会やサウンディング型市場調査を行った。ヘルシーパーク裾野は、コンセッション方式の採用、利用料金の裁量及び大規模改修を前提に、運営独立採算の達成が可能な旨確認した。
福祉センター石脇	<ul style="list-style-type: none"> 2021～2023年度:遊休地の民間譲渡を含めた利活用についてFMPTで検討した。 2024年度:課内で利活用について検討した。 2025年度:福祉避難所としての使用を含む施設の利活用について、事業者と協議を行った。
シルバーワークプラザ	<ul style="list-style-type: none"> 2021～2023年度:国庫補助対象であることから、建物処分方法について情報収集を行い、在り方について部内で民間譲渡等の検討を行った。 2024年度:指定管理期間終了後の施設管理の在り方について、課内検討を行った。 2025年度:指定管理期間終了後の施設管理の在り方について、関係課と協議を行った。

3. 今後の方針

- シルバーワークプラザについて、2026年度末をもって指定管理期間を終了するため、その後の施設管理のあり方等について、関係課・事業者を交えた検討を行う。
- 福祉保健会館について、2024度より従来の健康増進事業に加えて、母子保健機能と子育て支援機能が一体となったこども家庭センターが運営されており、乳幼児から高齢者まで幅広い層の利用があることから、今後も必要な改修、維持修繕を行い、適切な会館管理に努める。
- 福祉保健会館について、老人福祉センター機能は廃止したものの、老人クラブを含む高齢者等の施設利用を排除するものではないため、今後の施設利用のあり方について、関係団体等を交えた検討を行う。
- こども家庭センターすこっぷ親子交流スペースは、親子・多世代交流拠点の整備に向け、庁内ワークショップの検討結果等に基づき、関係各課が連携して整備内容の具体化を図る。
- ヘルシーパーク裾野について、2028年度以降の運営を継続するために、施設改修の概算工事費の財源確保及び市が負担する改修費や管理運営費を民間活力の導入によりどの程度縮減可能について検討を行う。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類	建築 ③市民文化系施設
関係課名	生涯学習課、深良支所、富岡支所、須山支所、鈴木図書館

(対象施設)

市民文化センター（生涯学習課）、深良地区コミュニティセンター（深良支所）、富岡地区コミュニティセンター（富岡支所）、須山地区コミュニティセンター（須山支所）、東地区コミュニティセンター（鈴木図書館）、東西公民館（鈴木図書館）

	施設名	所在地	所管課	床面積 (2016) 計画策定時	床面積 (2020) 現状値	代表建築年	経過年	地区	借地	備考
コ ミ ユ ニ テ ィ セ ン タ ー	市民文化センター	石脇586	生涯学習課	8,749.36	8,749.36	1991	29	西	一部借地	
	深良地区コミュニティセンター	深良657	深良支所	457.46	513.04	1979	41	深良		
	富岡地区コミュニティセンター	御宿680-1	富岡支所	539.93	549.21	1978	42	富岡		
	須山地区コミュニティセンター	須山1593-12	須山支所	415.96	415.96	1980	40	須山		
	東地区コミュニティセンター	茶畑399	鈴木図書館	442.00	442.00	2002	18	東		
	東西公民館	平松495	鈴木図書館	588.38	588.38	1993	27	東		
③市民文化系施設合計				11,193.09	11,257.95					

100.6%

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- 市民文化センターの会議室やホールは、生涯学習センター（④社会教育系施設）等にも類似機能を有していることから、利用状況を分析し、実態に合わせた集約化を検討する。実施にあたっては、室の利用率だけで判断せず、利用者の利用形態（ダンス、会議、ワークショップ、楽器演奏…など）を分析したうえで、市民サービスを維持しつつ必要に応じて既存施設のリニューアル（室用途や広さの見直し）等を併せて実施する。
- 長期的には、市民文化センターあるいは生涯学習センターのいずれかへ統合化を行い、同時に財政条件の検討（民間売却時の試算や防衛補助金の返還義務などの調査）を行う。
- 市民文化センターは、民間活力の活用などにより利用増進を図りながら、適切な規模で長寿命化の修繕・改修を行い存続していくが、第2期行財政構造改革の取組期間中は、改修を抑制するとともに、安全上の影響が生ずる場合には機能の一時停止も視野に入れる。

2. 取組実績

施設	取組実績
市民文化センター	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度：改修について検討を行い、特定天井落下防止措置工事を実施する方針とした。 2022年度：多目的ホールの特定天井落下防止措置工事に着手した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2023 年度：多目的ホールの特定期間天井落下防止措置工事を行った。設備事故を踏まえ改修方針について検討し方向性を決定した。 ・ 2024 年度：大ホールの改修工事（特定天井、設備改修）に向けて実施設計を行った。 ・ 2025 年度：ホール系空調設備の不調に対応するため修繕をおこなったほか、エントランス天窓の修繕、建築基準法に基づく外壁タイルの劣化診断（赤外線カメラとドローンを活用）を行った。また、大ホールの改修工事（特定天井、設備改修）に着手した。
コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2024 年度：利用者の利便性向上のため、インターネットによる施設予約システムを導入、あわせてスマートロックを導入した。 ・ 2025 年度：裾野市公共施設 LED 照明器具賃貸借事業（公共施設経営課）により富岡地区コミュニティセンター及び東地区コミュニティセンターの照明を LED 化した。 ・ 2025 年度：適切な維持管理を行い、安全利用の確保に努めた。
東西公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2023 年度：各所修繕を行った。 ・ 2024 年度：各所修繕を行った。 ・ 2025 年度：利用者の利便性向上のため、インターネットによる施設予約システムを導入及び、各所修繕を行った。

3. 今後の方針

- ・ 三支所は市民が安全安心に使用できるよう、地区コミュニティセンターの適切な維持管理を行う。
- ・ 引き続き市民文化センター大ホールの改修工事を行い、運用再開する。
- ・ 市民文化センターの利用実態を整理する。
- ・ 市民文化センター及び図書室の指定管理者選定を行う
- ・ 東地区コミュニティセンター会議室 1 空気調和更新修繕を実施する。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類	建築 ④社会教育系施設
関係課名	生涯学習課・鈴木図書館、深良支所

(対象施設)

生涯学習センター（生涯学習課）、鈴木図書館（鈴木図書館）、富士山資料館（生涯学習課）、深良地区郷土資料館（深良支所）

	施設名	所在地	所管課	床面積	床面積	代表建築年	経過年	地区	借地	備考
				(2016) 計画策定時	(2020) 現状値					
	生涯学習センター	深良435	生涯学習課	2,351.16	2,351.16	2007	13	深良	一部借地	
	鈴木図書館・東西公民館	平松495	鈴木図書館	3,002.18	3,002.18	1993	27	東		
資料	富士山資料館	須山2255-39	生涯学習課	1,041.29	1,041.29	1978	42	須山		
	深良地区郷土資料館	深良657	深良支所	109.99	109.99	1984	36	深良		
④社会教育系施設合計				6,504.62	6,504.62					

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- 生涯学習センターの会議室やホールは、市民文化センター（③市民文化系施設）等にも類似機能を有していることから、利用状況を分析し、実態に合わせた集約化を検討する。実施にあたっては、室の利用率だけで判断せず、利用者の利用形態（ダンス、会議、ワークショップ、楽器演奏…など）を分析したうえで、市民サービスを維持しつつ必要に応じて既存施設のリニューアル（室用途や広さの見直し）等を併せて実施する。
- 長期的には、市民文化センターあるいは生涯学習センターのいずれかへ統合化を行い、同時に財政条件の検討（民間売却時の試算や防衛補助金の取扱いなどの調査）を行う。
- 富士山資料館は、2021年度末で休館し、収蔵品の取扱い、防衛補助の返還協議を進める。併せて、本市における資料館機能の在り方を検討し、深良地区郷土資料館を含めて、既存施設（市民文化センター等）への複合化を行う。
- 鈴木図書館は、個別施設計画に基づき、適切に長寿命化工事を実施する。

2. 取組実績

施設	取組実績
生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度：建築基準法に基づく外壁診断を行った。 2024年度：施設備品(学習ホールプロジェクター、調理室ガスコンロ)の更新を行った。 2025年度：裾野市公共施設LED照明器具賃貸借事業（公共施設経営課）により生涯学習センターの照明をLED化した。 2025年度：WI-FI環境の整備、舞台美術バトンの更新を行った。

富士山資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年度：休館とした。 ・ 2022年度：資料の活用について検討した。 ・ 2023年度：館内の整理を行った。 ・ 2024年度：収蔵品資料の保存・整理を行った。 ・ 2025年度：収蔵品資料の保存を行い、収蔵品の館外展示に努めた。
鈴木図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年度：空調設備改修に関して、ESCO 事業導入の可能性を調査・検討した結果、コスト面で市のメリットが生じないことが判明した。 ・ 2022年度：空調設備の改修について、熱源方式・補助金活用・調達方式・ESCO サービスの導入について、(一社)ESCO・エネルギーマネジメント推進協会に加盟する民間事業者へプレサウンディングを行った。 ・ 2023年度：空調改修の方式を定め、本庁舎空調工事と併せて設計委託を予定していたが、能登半島地震を受、非常用発電の増強を併せて検討することとした。 ・ 2024年度：図書館および本庁舎の空調設備の更新と非常用発電の増強を併せて検討した。また、雨漏り修繕工事を実施した。 ・ 2025年度：鈴木図書館トップライト修理工事、雨漏り修繕工事、高圧PAS更新工事、受変電設備修繕工事を実施した。また、空調設備更新の熱源方式について検討し、都市ガスに決定した。
深良地区郷土資料館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年度：運営委員会を開催し委員との意見交換を行った。また施設老朽箇所の確認を行った。 ・ 2024年度：運営委員会を開催し、今後の資料館運営について意見交換を行った。 ・ 2025年度：運営委員会を開催し、今後の資料館運営について意見交換を行った。

3. 今後の方針

- ・ 生涯学習センターのパソコン室の貸出を再開する
- ・ 文化センターとの統合に向け、生涯学習センターの利用形態等の整理を行う
- ・ 引き続き資料館資料の保管管理と活用を行っていく
- ・ 2026年に鈴木図書館の非常用発電機更新工事、屋根雨漏り修繕工事実施設計業務委託を行い、2027年に屋根雨漏り修繕工事を実施する。
- ・ 深良地区郷土資料館は、施設の安全性が確保できていないため開館をしていないことから、周囲に危険を及ぼす前に解体等を検討する。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類	建築 ⑤スポーツ・レクリエーション系施設
関係課名	生涯学習課

(対象施設)

市民体育館（生涯学習課）、運動公園総合体育施設（生涯学習課）、総合グラウンド（生涯学習課）、深良グラウンド（生涯学習課）、須山グラウンド（生涯学習課）、須山テニス・フットサル場（生涯学習課）

	施設名	所在地	所管課	床面積 (2016) 計画策定時	床面積 (2020) 現状値	代表建築年	経過年	地区	借地	備考
	市民体育館	稲荷24	生涯学習課	4,424.83	4,424.83	1978	42	東		
グラウンド	運動公園総合体育施設	今里1616-1	生涯学習課	6,470.70	6,470.70	1992	28	富岡	一部借地	
	総合グラウンド	御宿894-1	生涯学習課	1,175.44	1,175.44	1980	41	富岡	一部借地	
	深良グラウンド	深良337-1	生涯学習課	27.75	27.75	1990	31	深良	全部借地	
	須山グラウンド	須山2255-3103の内	生涯学習課	25.20	25.20	1976	44	須山	全部借地	
	須山テニス・フットサル場	須山1220-16	生涯学習課	27.00	27.00	1986	34	須山		
	市立水泳場	須山1220-16	生涯学習課	378.97	0.00					2020廃止
	十里木キャンプ場	須山2427-1	生涯学習課	563.48	0.00					2020譲渡
	⑤スポーツ・レクリエーション系施設合計			13,093.37	12,150.92					(△7.2%)

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- 借地上の施設が多く、本市の借地全体の約45%を占めており、今後も財政面で負担が生ずることが予見されることから、施設の利用率や利用団体、広域的な見地からの必要性等を検証し、最適化の方針を定める。なお、存続させる施設については、計画的な借地解消に向けた取組みに着手する。
- 市民体育館は、個別計画に基づき計画的な修繕を実施する。
- 運動公園総合体育施設の改修については、第2期行財政構造改革の取組期間中の実施は抑制するとともに、安全上影響が生ずる場合には機能の一時停止も視野に入れる。
- グラウンド系（運動公園総合体育施設、総合グラウンド、深良グラウンド、須山グラウンド、須山テニス・フットサル場）は、利用団体ごとの利用状況の特性や利用目的を個別に分析するとともに、「夜間・休日における学校施設のグラウンド活用」を含めて、集約化を検討する。
- 運動公園総合体育施設の存続にあたっては、現在のような公式競技利用者に合わせた機能・料金体系ではなく、ニーズの高い一般市民が利用しやすくなるよう、既存施設のリニューアルを含めた在り方を検討する。

2. 取組実績

施設	取組実績
----	------

全般	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度：スポーツ推進審議会において、スポーツ施設維持整備に関する協議が行われ、意見書が提出された。指定管理者において、各施設の利用実態を時間単位で集計した。 2023年度：指定管理者の2022年度実績のモニタリングについて、指定管理者選定評価委員会の評価を受けた。 2024年度：あらたな指定管理者の選定を行った。 2025年度：第3期スポーツ推進計画の策定を行った。スポーツ施設集約方針の検討を行った。
市民体育館	<ul style="list-style-type: none"> 2025年度：破損した門扉利用からバリカーに運用変更するため修繕を行った。
運動公園総合体育施設	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度：利用料金の設定が運動公園施設（午前・午後・夜間）と総合グラウンド（1時間単位）で異なるため、利用実態調査が同一条件になっていない。指定管理者に運動公園施設の利用実態を時間単位で把握できないか打診をした。 2022年度：設備改修工事を実施した。 2023年度：寄附金により運動公園野球場の修繕工事を実施した。 2024年度：文教施設における多様なPPP/PFIの先導的開発事による支援（文科省）を受け、「ヘルシーパーク裾野・運動公園・梅の里の一体的な民間活用」について検討、静岡県官民連携実践塾（静岡県）を活用しサウンディング（対話）型市場調査を行うなど、民間活力を生かした活用について意見を求めると共に、民間譲渡やコンセッション方式を導入する場合の課題の把握及び課題解決に向けた今後の方針を検討した。また、陸上競技場の公認を更新するための方針を検討した結果「4種ライト」による改修方針とした。 2025年度：指定管理者と連携し時間単位での利用実態の精査を行った。また、2026年度の陸上競技場の改修工事に向けて設計業務を行ったほか、陸上競技場照明塔の電気関係調査（漏電）を行った。「ヘルシーパーク裾野・裾野市運動公園」に関する民間活力導入可能性調査として、詳細なインフォメーションパッケージを作成し、現地説明会やサウンディング型市場調査を行ったが、運動公園は民間活力導入における具体的な提案や意見などは得られなかった。
総合グラウンド、深良グラウンドほか	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度：ドローンスクールとしての活用相談があり、指定管理者と協議のうえ、総合グラウンド多目的競技場をスクール利用（指導者有）に限り使用できるようにした。 2024年度：2023年度をベースに利用傾向を分析し、グラウンドの適正数量案の検討を行った。 2025年度：指定管理者と連携しグラウンドごと平日、及び休日の30分ごとの利用実績（利用団体、利用種目等）について分析し、グラウンド

	再編計画（第1期）を策定した。 ・ 2025年度：裾野市公共施設 LED 照明器具賃貸借事業（公共施設経営課）により須山テニス・フットサル場の照明を LED 化した。
--	--

3. 今後の方針

- ・ 2026年度に運動公園陸上競技場の改修工事を実施、第4種ライト公認を取得する。
- ・ 指定管理者制度について、適正な実施期間を検討する。
- ・ 総合グラウンドや深良グラウンドなどの利用実態の分析を継続し、市民及び行政にとって効率的かつ効果的なスポーツ施設のあり方を検討する

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類 建築 ⑥子育て支援施設	
関係課名	子育て支援課、教育総務課、幼稚園・保育園課

(対象施設)

南児童館・北児童館（子育て支援課）、富岡第一小学校放課後児童教室・南小学校放課後児童教室（教育総務課）、保育園4・幼稚園6・（こども未来課）

	施設名	所在地	所管課	床面積 (2016) 計画策定時	床面積 (2020) 現状値	代表建築年	経過年	地区	借地	備考
児童館等	南児童館	伊豆島田806-14	子育て支援課	284.80	284.80	1992	28	西		
	北児童館	御宿1619-1	子育て支援課	254.34	254.34	2007	13	富岡		2022有償貸付
	富岡第一小学校放課後児童室	御宿600	教育総務課	65.00	65.00	2007	13	富岡		
	南小学校放課後児童室	伊豆島田806-5	教育総務課	65.00	65.00	2008	12	西		
保育園	東保育園	茶畑504-1	こども未来課	813.00	813.00	1982	38	東	全部借地	
	西保育園	佐野1154	こども未来課	699.57	699.57	1981	39	西	一部借地	
	深良保育園	深良1918-1	こども未来課	621.00	621.00	1984	36	深良	一部借地	
	御宿台保育園	御宿1619-1	こども未来課	1,950.20	0.00					2020有償貸付
幼稚園	富岡保育園	上ヶ田174-3	こども未来課	864.47	864.47	1973	47	富岡	一部借地	
	いずみ幼稚園	稲荷123-1	こども未来課	937.00	937.00	1961	59	東	一部借地	
	西幼稚園	佐野1470	こども未来課	749.00	749.00	1974	46	西		
	深良幼稚園	深良696-1	こども未来課	524.00	524.00	1976	44	深良	一部借地	
	富岡第一幼稚園	御宿680-14	こども未来課	722.00	722.00	1979	41	富岡	一部借地	
	富岡第二幼稚園	下和田890	こども未来課	434.00	434.00	1981	39	富岡		
	須山幼稚園	須山158-1	こども未来課	411.00	411.00	1987	33	須山	一部借地	
⑥子育て支援施設合計				9,403.47	7,444.18					(Δ20.8%)

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- ・ 児童館は、児童館機能を維持しつつ、他の子育て支援機能（子育て世代包括支援センター、家庭児童相談室機能、障がい者相談支援センター機能等）と併せて福祉保健会館に集約化・複合化させる。
- ・ 放課後児童室は、引き続き利用者のニーズを把握しつつ、原則として小学校の余裕教室や市有施設を利用した複合化により実施していく。
- ・ 保育園・幼稚園は、「裾野市幼児施設整備基本構想」および、民間事業者の参入傾向を踏まえ、民間事業者による私立こども園の整備を支援する。公立施設は更新時期に併せた縮小・集約化（公立こども園化）を図る。

2. 取組実績

施設	取組実績
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2024年度：「第3期子ども・子育て支援事業計画」で、教育・保育・子育て支援事業の需要と供給を整理し改訂した。 ・ 2025年度：富岡、深良地区のこども園化に向け、富岡保育園、深良保育園の改修事業を実施した。こども・若者計画を策定した。

児童館	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度：北児童館を12月31日付で閉館し、民営の小規模保育事業所（2022年4月1日開園）に用途変更した。 2022年度：福祉保健会館に子ども家庭総合支援拠点を設置し、家庭児童相談室、児童館機能を含め集約化させた。 2024年度：福祉保健会館内に、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の両機能を包含した「こども家庭センター“すこっぷ”」を開設した。廃止した老人福祉センターの改修によるこども家庭センター機能の充実を検討するため、国（内閣府）の「PPP/PFI 案件形成調査検討支援」を受け、今後の検討方針の具体化や事業案件化に向けた前提条件を整理・検討するとともに、静岡県官民連携実践塾（静岡県官民連携地域プラットフォーム）のサウンディング調査を行った。 南児童館は、3月16日付けで休館とし、南小学校会議室に南小こどもの居場所を開設して一部機能を移した。 2025年度：南児童館は、跡地利用に係るサウンディング型市場調査を実施し、幼児施設等の子育て支援関連施設としての利用に係る提案を広く求め、事業内容を検討した。
放課後児童室	<ul style="list-style-type: none"> 2024年度：利用者アンケートにより、今後も高い需要があることを把握した。 2025年度：学校三部制の実施の可能性について、他市町の事例を参考に部内で検討を行った。
公立保育園・幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 2021年度：幼児施設整備基本構想を改訂した。また、富岡第二幼稚園の閉園記念事業を実施し、3月31日付で閉園した。 2022年度：富岡、深良地区の公立幼稚園・保育園を統合し、2026年4月開園を目標に、富岡保育園を活用した市立認定こども園及び市立水泳場跡地に私立認定こども園を設置する方針を公表した。また、統合を進める園の保護者に対し、市の方針やスケジュールの説明を開始した。 2023年度：想定以上に少子化等が進んでいるため再編方針を見直し、富岡・深良地区の公立の幼稚園・保育園4園を、公立こども園2園に再編し、園舎は各地区の保育園を活用し、2026年4月に開園することとした。また、旧水泳場跡地の活用方法が変更されることから、富岡・深良地区の再編方針を石脇区に対して説明した。再検討の結果、先行して実施する富岡・深良地区の再編の見直しに伴い、9月に締め切った2024年度市立幼稚園の入園申込みの変更受付を行った。また、深良・富岡地区の市立幼保の保護者、関係者、教育委員等に再編計画の説明を実施した。6月に幼保職員によるこども園化に向けた検討会を立ち上げ、こどもの園の運営についての会議を8回実施した。富岡・深良地区の幼稚園・保育園用地の借地契約更新に際し、再編を見据えた契約内容とした。須山幼稚園の駐車場用地を返還し、借地を

	<p>解消した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2024年度：「裾野市幼児施設整備基本構想」を見直し、改訂した。富岡・深良地区の幼保保護者を対象に再編方針の説明会を1回実施した。2026年4月の開園を予定している深良・富岡のこども園化に向け、改修工事設計等業務委託を実施し、運営体制の整備としてこども園検討会を10回実施した。加えて富岡・深良幼保職員による統合調整会を5回実施した。富岡・深良幼保の統合記念事業等を協議する場として裾野市幼児施設整備基本構想推進委員会（富岡・深良地区）を1回実施した。 2025年度：2026年4月開園の富岡・深良地区のこども園に向け、施設改修した。富岡・深良幼保職員による統合調整会を10回実施した。また統合記念事業等を協議する場として裾野市幼児施設整備基本構想推進委員会（富岡・深良地区）を3回実施した。2026年3月末に、富岡第一幼稚園と深良幼稚園を閉園、深良幼稚園の駐車場用地を返還した。
民間園	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度：2023年4月に「富岳キッズセンターあい」が民間の幼保連携型認定こども園として開園した。また、2024年4月開園の民間認定こども園に対し施設整備にかかる補助金を交付し、開園準備を行った。 2024年度：2024年4月に「ぽんぽん石脇こども園」が民間の幼保連携型認定こども園として開園した（定員75人）。 2025年度：特になし

3. 今後の方針

<ul style="list-style-type: none"> 南児童館跡地の利活用については、実施済みのサウンディング型市場調査で得られた提案を踏まえ、幼児施設等の子育て支援拠点としての具体化を検討します。 富岡第一幼稚園、深良幼稚園の解体に向け、2026年度に設計を行い、2027年度に解体工事を行う。 西地区のこども園化に向け、2026年度に概略設計、敷地測量を実施する。2027年以降、基本設計、実施設計を実施し、2030年4月の開園を目指す。
--

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類	建築 ⑦学校教育系施設
関係課名	教育総務課

(対象施設)

小学校9・中学校5（教育総務課）、学校給食センター（教育総務課）

	施設名	所在地	所管課	床面積	床面積	代表建築年	経過年	地区	借地	備考 (給食)
				(2016) 計画策定時	(2020) 現状値					
小学校	東小学校	茶畑399	教育総務課	8,192.00	8,192.00	1968	52	東	一部借地	自校式
	西小学校	佐野1143	教育総務課	7,046.00	7,046.00	1968	52	西	一部借地	自校式
	深良小学校	深良655	教育総務課	5,122.00	5,122.00	1971	49	深良		自校式
	富岡第一小学校	御宿600	教育総務課	6,894.17	6,894.17	1969	51	富岡	一部借地	自校式
	富岡第二小学校	下和田890	教育総務課	2,842.00	2,842.00	1979	41	富岡		センター方式
	須山小学校	須山1165	教育総務課	3,358.00	3,358.00	1965	55	須山		自校式
	向田小学校	茶畑1133	教育総務課	5,660.00	5,660.00	1988	32	東		自校式
	千福が丘小学校	千福が丘12-1	教育総務課	4,306.00	4,306.00	1989	31	富岡		自校式
	南小学校	伊豆島田806-5	教育総務課	5,382.00	5,382.00	2005	15	西		センター方式
中学校	東中学校	公文名685-1	教育総務課	7,429.00	7,368.00	1975	45	東		センター方式
	西中学校	佐野450	教育総務課	6,516.00	6,516.00	1971	49	西		センター方式
	深良中学校	深良3806	教育総務課	4,871.00	4,871.00	1981	40	深良		センター方式
	富岡中学校	御宿579	教育総務課	7,358.00	7,358.00	1955	65	富岡		センター方式
	須山中学校	須山1502-1	教育総務課	2,917.48	2,917.48	1984	36	須山		センター方式
	学校給食センター	深良2363	教育総務課	1,186.68	1,186.68	1993	27	深良		
⑦学校教育系施設合計				79,080.33	79,019.33					

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- ・ 複式学級化や全学年単学級が予測される中、教育的見地からも学校統合の方針（「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引」2015年1月文部科学省）が示されており、2022年に「学校教育施設再編基本計画」を策定し、床面積30%の縮減に向けた具体的な取組みを進める。存続させる方針となった施設は、計画的な工事を図り児童生徒の安全を確保する。また、施設再編後の利活用については、今後整備を要する機能、既存の施設の移設等、教育委員会だけでなく全庁的な協議調整を進めて全体最適化を図る。
- ・ 学校給食については、策定予定の「学校教育施設再編基本計画」の方針を踏まえ、中長期的な必要供給量を把握し、適切な規模を設定したうえで、委託による提供の可能性や、自校式から給食センター方式への移行によるコスト縮減など、幅広く検討する。

2. 取組実績

施設	取組実績
全般	・ 2021年度：学校教育施設再編推進本部を立ち上げ、庁内の協議を行いながら、学校関係（小・中・幼・保）及び地域への意見交換会を行った。

	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度：学校等の関係者及び地域の意見交換会を重ね（53回）、2023年3月に「裾野市学校教育施設再編基本計画」を策定し公表した。 2023年度：2023年3月に策定し公表した「裾野市学校教育施設再編基本計画」の保護者、地域住民向け説明会を計33回実施した。 2024年度：富岡第二小と富岡第一小の統合を2027年4月に実施することを公表した。 2025年度：4月に旧向田小を統合した東小が開校したほか、須山への小規模特認校制度の導入に向け、須山地区学校再編推進協議会を発足した。
ふれあい教室	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度：借家で運営していたふれあい教室を図書館に移転した。 2024年度：図書館の研修室を改修して、ふれあい教室として使えるスペースを広げた。 2025年度：適切な維持管理を行い、安全利用の確保に努めた。
東地区	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度：向田小と東小の統合に向け、東地区学校再編推進協議会を3回開催した。 2024年度：向田小と東小の統合に向け、東地区学校再編推進協議会を3回開催した。 2025年度：新東中の開校に向け、東地区学校再編推進協議会を1回開催したほか、東中転用工事実施設計を行った。
富岡地区	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度：富二小学区の保護者と、個別の意見交換会を実施した。 2024年度：富二小学区の保護者、地域住民向け説明会を計16回実施した。富岡第二小学校と富岡第一小学校の統合を2027年4月に実施することを公表した。富二小と富一小の統合に向け、富岡地区学校再編推進協議会を1回開催した。 2025年度：富二小と富一小の統合に向け、富岡地区学校再編推進協議会を2回開催したほか、学校間交流事業を実施した。
須山地区	<ul style="list-style-type: none"> 2025年度：須山小への小規模特認校制度の導入に向け、須山地区学校再編推進協議会を2回開催した。
給食センター	<ul style="list-style-type: none"> 2022年度：官民連携による整備手法について検討した。 2023年度：給食センターの官民連携を検討するため、サウンディング型市場調査を実施した。 2024年度：2025年3月に「学校給食施設整備基本構想」を策定し公表、小中学校全校においてセンター化し、建設候補地は東中学校の跡地とする方針とした。 2025年度：民間活力導入可能性調査を実施後、2026年2月に策定した「学校給食施設整備基本計画」の中で、新学校給食センターの事業方式はPFI（BT0）で実施することとし、東中学校の跡地を建

設地とすることを決定した。

3. 今後の方針

- 裾野市学校教育施設再編基本計画に基づき、再編を実施する。
- 東中転用工事を実施し、令和10年度の開校を目指す。
- 富二小と富一小の再編に向けた取り組みを進め、令和9年度の開校を目指す。
- 須山小の特色ある教育内容等の検討を進め、令和10年度の小規模特認校制度の導入を目指す。
- 学校給食施設整備基本計画に基づき、令和13年度の新学校給食センターの稼働を目指す。
- 3年度にわたり、「新給食センターPFIアドバイザー業務」を実施し、PFIの事業主体となる特別目的会社（SPC）の募集・選定・事業契約を行う。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類	建築 ⑧供給処理施設
関係課名	生活環境課

(対象施設)

美化センター（生活環境課）、最終処分場（生活環境課）、中島苑〔し尿処理施設〕（生活環境課）、裾野長泉斎苑〔新斎場〕（生活環境課）

施設名	所在地	所管課	床面積 (2016) 計画策定時	床面積 (2020) 現状値	代表建築年	経過年	地区	借地	備考
美化センター	大畑215-2	生活環境課	1,778.92	1,778.92	1988	33	西		
最終処分場	須山2800	生活環境課	1,068.50	1,068.50	1987	33	須山	全部借地	
中島苑〔し尿処理施設〕	深良963	生活環境課	2,086.69	2,086.69	1989	31	深良		
斎場(旧)	今里343-1	生活環境課	553.87	0.00					2021解体
裾野長泉斎苑(新斎場)	今里343-1	生活環境課	0.00	1,594.00	2021	0	富岡		2021建替
⑧供給処理施設合計			5,487.98	6,528.11					119.0%

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- ・ 美化センターは、本市単独整備だけではなく、近隣市町の更新時期に合わせた広域化や、近隣自治体への一時的な処理委託等も視野に入れ、近隣自治体との連携・協議を行い、施設の整備費用や維持管理費用の縮減を検討する。併せて、現行施設については最小限の費用で延命措置を実施する。
- ・ 最終処分場は、次回の契約期間満了（2025年12月31日）までに今後の方針を定める。
- ・ 裾野長泉斎苑〔新斎場〕は、長期修繕計画を策定し、計画的に維持補修工事を実施する。

2. 取組実績

施設	取組実績
美化センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年度：美化センターの更新については、「静岡県一般廃棄物広域化マスタープラン」で示された広域化グループ（裾野市、三島市、長泉町、函南町、熱海市）による勉強会を、県に主体となってもらい実施した。また、既存施設の延命化については、延命方法について、施設設置業者や県と話し合いを行った。 ・ 2022年度：美化センターは、各省庁の補助金の研究、施設内容や規模等について事業者から情報収集、庁内関係部署との調整等を実施した。整備手法については、民間活用による単独整備を検討することとした。 ・ 2023年度：民間施設を活用した一般廃棄物処理体制の構築に係る

	<p>サウンディング調査を実施し、事業の実現性や課題の整理を行った。一方、「静岡県一般廃棄物広域化マスタープラン」で区割りされた市町による連絡会等にも出席し、構成市町による広域化の可能性についても協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2024年度：民間施設を活用した一般廃棄物処理について、昨年度よりも条件をしぼった形で、2回目のサウンディング調査を実施し、事業の実現性や課題の整理を行った。一方、ごみ処理の広域化を検討している枠組みの中で、一般廃棄物処理施設実現可能性調査を行い、広域化・集約化のメリットや課題を整理した。 2025年度：民間施設の活用、ごみ処理の広域化とともに建設候補地の公募や公有地等の抽出作業を行い、リストアップされた土地の評価検討業務を実施した。
最終処分場	<ul style="list-style-type: none"> 2024年度：適切な維持管理と浸出水の処理によって第二期処分場の延命化を図るとともに、将来的な施設の廃止を見据えて土地の買い取りについて土地所有者と協議した。 2025年度：適切な維持管理と浸出水処理を実施した。資源化率向上に向けた回収拠点、イベント等での活用及び将来的な費用負担の軽減を目的として、これまで賃借していたすべての土地を購入した。
裾野長泉 斎苑	<ul style="list-style-type: none"> 2024年度：適切な維持管理を行った。修繕計画に基づき、火葬炉設備のうちの炉内台車の修繕を行った。 2025年度：適切な維持管理を行い、安全利用の確保に努めた。

3. 今後の方針等

<ul style="list-style-type: none"> 3市2町の枠組みで協議している広域一般廃棄物処理の建設候補地については、2026年8月頃に決定する予定であるため、その結果を踏まえ、年内に同枠組みへの参加意思を表明する。市の将来的な一般廃棄物処理方針については、民間施設の活用及び広域化を総合的に勘案し、検討していく。 第1期最終処分場については、既に埋め立てが終了していることから、2028年度を目途に終了対策工事を行い、浸出水の水質などをモニタリングしながら、施設の廃止を目指す。
--

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類	建築 ⑨公営住宅
関係課名	都市計画課

(対象施設)

新稲荷団地（まちづくり課）、上原団地（まちづくり課）、舞台団地（まちづくり課）

施設名	所在地	所管課	床面積 (2016) 計画策定時	床面積 (2020) 現状値	代表建築年	経過年	地区	借地	備考
新稲荷団地	稲荷116-1	まちづくり課	899.78	899.78	1996	24	東	全部借地	
上原団地	深良1665	まちづくり課	1,824.00	1,824.00	1972	48	深良	全部借地	
舞台団地	深良220	まちづくり課	2,300.00	2,300.00	1969	51	深良	一部借地	
柳端団地	石脇613	まちづくり課	510.00	0.00					2017解体
⑨公営住宅合計			5,533.78	5,023.78					

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- ・ 新稲荷団地は、今後 46 年間の耐用寿命があることから「公営住宅等長寿命化計画」に基づき計画的な長寿命化修繕を行うとともに、借地の解消を検討する。
- ・ 舞台団地と上原団地の一部は、非現地建替えの方針であるため、将来の解体・借地返還を見据え、段階的に退去後の入居制限を開始する。
- ・ 併せて、「借上型公営住宅制度」（民間賃貸住宅を公営住宅として一定期間借上げる。建設費等の多額の初期投資を必要としない効率的な公営住宅の供給が可能）や「住宅確保要配慮者専用住宅制度」（住宅セーフティネット法に基づく民間賃貸住宅への家賃補助）など民営化による「ソフト対応」も検討する。

2. 取組実績

施設	取組実績
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021 年度：住生活基本計画・公営住宅等長寿命化計画の改訂を行い、計画内で公営住宅の需要の再算定を行った ・ 2025 年度：各種計画の中間見直しの予算措置を行った。
舞台団地・ 上原団地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021 年度：市営舞台団地の一部と上原団地は、退去後の入居制限を開始した。また、入居制限に伴う地権者への説明会、居住者の減少に伴う上原団地の浄化槽清掃費等の住民負担のあり方について検討した。 ・ 2023 年度：居住者減少に伴う上原団地住民の金銭的負担を減少するため、「裾野市営住宅に設置された浄化槽の維持管理に関する共益費の取扱要綱」を制定した。 ・ 2024 年度：市営上原団地土地賃貸借全面変更契約を締結した。併せて、土地所有者である 25 名から、契約満了後の土地利用につ

	いて要望書が提出された。 ・ 2025 年度：引き続き、入居制限を実施。
新稲荷団地	・ 2024 年度：公営住宅等長寿命化計画に基づき、3年に一度の住民による建物点検に基づく一斉修繕工事を実施した。 ・ 2025 年度：引き続き、適切な管理を実施。

3. 今後の方針

- ・ 2026 年度は、住生活基本計画、空家等対策計画及び公営住宅等長寿命化計画の計画改定予定
- ・ 上原、舞台の 2 団地の今後について、2026 年度に改定を予定している公営住宅等長寿命化計画の中で方針を明らかにしていく予定。
- ・ 従前の計画では、民間アパートを買い上げて公営住宅化していくことが明記されているが、管理面と国の補助を受けて市有地に建設する場合の収支を考慮し検討。
- ・ 2026 年度に住生活基本計画・公営住宅等長寿命化計画の中間見直しを実施。
- ・ 需要と供給戸数の算定を行い、それに応じて整備計画も併せて策定する。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類	建築 ⑩公園
関係課名	みどりと公園課、産業観光スポーツ課

(対象施設)

公園 11 (産業振興課、まちづくり課)

	施設名	所在地	所管課	床面積 (2016) 計画策定時	床面積 (2020) 現状値	代表建築年	経過年	地区	借地	備考
公園	十里木高原	須山2311-319の一部	産業振興課	25.41	25.41	1991	29	須山	全部借地	無償貸与
	須山浅間神社駐車場	須山484-1外	産業振興課	49.68	49.68	2014	6	須山		
	偕楽園	茶畑1079外	産業振興課	10.78	10.78	1999	21	東	一部借地	
	景ヶ島溪谷	葛山2-7外	産業振興課	14.80	14.80	2017	3	富岡	一部借地	
	小柄沢緑地	佐野804-3外	まちづくり課	19.40	19.40	1993	28	西		
	千福が丘中央公園	千福が丘3-1-3外	まちづくり課	17.39	17.39	1993	28	富岡		
	せせらぎ児童公園	石脇568外	まちづくり課	9.95	9.95	1993	28	西		
	今里児童公園	今里156-5外	まちづくり課	11.04	11.04	1997	24	富岡		
	呼子公園	呼子1-1-28外	まちづくり課	12.10	12.10	1997	24	富岡		
	葛山上城公園	葛山196-1外	まちづくり課	8.00	8.00	2011	10	富岡		
	中央公園	千福7-1外	産業振興課	80.08	80.08	1973	47	富岡	一部借地	
⑩公園合計				258.63	258.63					(△0.0%)

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- 公衆トイレは、公益財団法人静岡県市町村振興協会による「市町村振興事業（公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業）」の補助金（補助率 10/10）を活用し、補助金の範囲内で段階的に LED 化（公園内水銀灯の LED 化を含む）を進める。ただし、この補助金は、公衆トイレ以外の公共施設や地区防犯灯の LED 化等にも活用されるものであるため、配分された範囲で段階的に実施する。
- 借地である公園駐車場は、利用状況（曜日別・時間帯別等）を分析して必要性や必要台数を検討する。

2. 取組実績

施設	取組実績
公園	<ul style="list-style-type: none"> 2021 年度：市町村振興事業（公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業）の補助金を活用し、中央公園の身体障がい者用トイレを多目的トイレに改修した。 2022 年度：公園内水銀灯の LED 化を 1 基実施した。 2023 年度：千福が丘中央公園のトイレ内の照明と、水銀灯 2 基を LED 化とした。 2024 年度：小柄沢緑地と千福が丘中央公園のトイレ 5 箇所について手すりの設置と洋式化を実施した。ふじのくにフロンティア推

	<p>進エリア形成事業費補助金などを活用し駅西公園（新設）を整備し、トイレを新設した。延べ床面積 6.98 m²。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2025 年度：裾野市公共施設 LED 照明器具賃貸借事業（公共施設経営課）により小柄沢緑地、せせらぎ児童公園、今里児童公園、呼子公園及び中央公園の照明を LED 化した。
--	---

3. 今後の方針

- ・ 市町村振興事業（公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業）により、公園施設などのトイレの洋式化を進める。
- ・ 借地である公園駐車場の利用状況を分析して必要性や必要台数を検討する。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類	建築 ⑩その他
関係課名	公共施設経営課、生活環境課、危機管理課、みどりと公園課、駅周辺整備課

(対象施設)

駿東地区教育会館（行政課）、市営墓地（生活環境課）、裾野駅東側駐輪場（危機管理課）、裾野駅西口公衆トイレ・裾野駅東口公衆トイレ（まちづくり課）、裾野駅西土地区画整理事業仮設住宅（区画整理課）

施設名	所在地	所管課	床面積 (2016) 計画策定時	床面積 (2020) 現状値	代表建築年	経過年	地区	借地	備考
駿東地区教育会館	大畑133-2	行政課	561.90	561.90	1971	49	西		
市営墓地	深良4066	生活環境課	49.06	49.06	2014	6	深良		
裾野駅東口駐輪場	平松243-2	危機管理課	71.30	71.30	1975	46	東	全部借地	
裾野駅西口公衆トイレ	平松390	まちづくり課	24.00	17.61	2016	4	東		
裾野駅東口公衆トイレ	平松375	まちづくり課	8.00	8.00	2000	20	東		
裾野駅西土地区画整理事業 仮設住宅	佐野1533-1	区画整理課	632.77	632.77	2007	13	西		
⑩その他合計			1,347.03	1,340.64					(△0.5%)

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- ・ 駿東地区教育会館は、今後の在り方について検討する。
- ・ 市営墓地は、受益者負担の考え方により、墓地使用者からの管理料で維持管理を行う。
- ・ 裾野駅西土地区画整理事業仮設住宅は、事業の進捗をみながら最低限の維持修繕を行い、換地処分後、速やかに解体する。

2. 取組実績

施設	取組実績
駿東地区教育会館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年度：市街化調整区域に立地していることから、都市計画法上の建築規制について確認した。 ・ 2022年度：（一社）駿東地区教育協会へ今後の利用意向についてヒアリングを行うとともに、賃貸借期間の満了（2037年度迄）を踏まえ、2027年度までを目途に継続の有無の回答を依頼した。 ・ 2024年度：（一社）駿東地区教育協会より、継続利用に向けた相談があり協議を進めた。 ・ 2025年度：（一社）駿東地区教育協会と賃貸借期間満了（2037年度）後の施設の継続利用について、協議を行った。 ・ 2025年度：裾野市公共施設LED照明器具賃貸借事業（公共施設経営課）により駿東地区教育会館の照明をLED化した。

市営墓地	<ul style="list-style-type: none"> 2021～2024年度：適切な維持管理を行った。 2025年度：四阿の屋根を張り替えるなど適切な維持管理を行い、安全利用の確保に努めた。
裾野駅西土地区画整理事業仮設住宅	<ul style="list-style-type: none"> 2021～2023年度：適切な維持管理を行った。 2024年度：入居者からの申し出により、施設や設備の維持修繕を行った。 2025年度：入居者からの申し出により、施設や設備の維持修繕を行った。
駅トイレ	<ul style="list-style-type: none"> 2025年度：裾野駅東口トイレ1箇所について手すりの設置と洋式化を実施した。 2025年度：裾野市公共施設LED照明器具賃貸借事業（公共施設経営課）により裾野駅東口トイレの照明をLED化した。
裾野駅東口駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> 2025年度：修繕が必要な報告等は無かった。

3. 今後の方針

- 市営墓地については、墓地に対するニーズが変化しつつあるため、永代供養墓の整備に向けて調査・研究を進める。
- 駿東地区教育会館については、引き続き（一社）駿東地区教育協会と施設の継続利用について、協議を継続する。
- 裾野駅東口駐輪場の屋根の破損等については、必要な対応していく。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類 インフラ資産（道路）	
関係課名	建設課

(対象施設)

路線数 1,938、実延長 657,568.8m、面積 3,058,399 m²（2021年4月1日現在）

市道の種類別保有量（2021年4月1日現在）

施設類型	種類	保有量
道路	1級市道	路線数：25、実延長：49,903.2m、面積：452,269 m ²
	2級市道	路線数：42、実延長：41,951.4m、面積：282,813 m ²
	その他市道	路線数：1,871、実延長：565,714.2m、面積：2,323,317 m ²
	計	路線数：1,938、実延長：657,568.8m、面積：3,058,399 m ²

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- ・ 道路破損箇所の修繕の実施及び交通量の多い路線の舗装補修を実施していく。

2. 取組実績

年度	取組実績
2021	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民通報及び地区要望に伴い道路修繕を実施した。 ・ 道路パトロールや委託契約により道路の舗装の穴埋めや除草・清掃を実施した。 ・ 市道 1-4 号線、市道 1-13 号線、市道 1-15 号線、市道 4053 号線等の交通量の多い路線の舗装補修を実施した。
2022	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民通報及び地区要望に伴い道路修繕を実施した。 ・ 道路パトロールや委託契約により道路の舗装の穴埋めを実施した。 ・ 市道 1-4 号線、市道 1-13 号線、市道 1-15 号線、市道 4053 号線等の交通量の多い路線の舗装補修を実施した。
2023	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民通報及び地区要望に伴い道路修繕を実施した。 ・ 道路パトロールや委託契約により道路の舗装の穴埋めを実施した。 ・ 市道 1-4 号線、市道 1-13 号線、市道 4053 号線、市道 2-34 号線等の交通量の多い路線の舗装補修を実施した。
2024	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民通報及び地区要望に伴い道路修繕を実施した。 ・ 道路パトロールや委託契約により道路の舗装の穴埋めを実施した。 ・ 市道 1-4 号線、市道 1-13 号線、市道 4053 号線、市道 2-41 号線等の交通量の多い路線の舗装補修を実施した。
2025	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民通報及び地区要望に伴い道路修繕を実施した。

	<ul style="list-style-type: none">• 道路パトロールや委託契約により道路の舗装の穴埋めを実施した。• 市道 1-4 号線、市道 4362 号線外 1、市道 1721 号線、市道 1157 号線等の補修頻度が高い路線の舗装補修を実施した。
--	--

3. 今後の方針

<ul style="list-style-type: none">• 交通量の多く損傷が著しい路線の舗装補修、道路パトロールや市民通報等に基づき損傷が発見された路線の修繕を実施し、適切な通行環境を確保する。
--

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2024年度実績】

分類 インフラ資産（橋梁）	
関係課名	建設課

(対象施設) ←

橋梁 296 橋、整備面積 27,915 m² (2021 年 4 月 1 日現在) ←

←

橋梁の保有量 (2021 年 4 月 1 日現在) ←

施設類型←	種類←	保有量←
橋梁←	PC 橋←	面積 : 13,286 m ² (78 橋) ←
	RC 橋←	面積 : 5,642 m ² (175 橋) ←
	鋼橋←	面積 : 8,886 m ² (37 橋) ←
	石橋←	面積 : 56 m ² (5 橋) ←
	その他←	面積 : 45 m ² (1 橋) ←
	計←	面積 : 27,915 m ² (296 橋) ←

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- ・ 5 年に 1 回の定期点検の結果により、補修の優先順位を検討し、橋梁個別施設計画の改定により計画的な補修を実施していく。

2. 取組実績

年度	取組実績
2021	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御殿場市と協議を行い市境の橋（新西川橋）の補修を実施した。 ・ 千福地先の寿橋外 4 橋の補修を実施した。
2022	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長泉町境の新愛鷹橋の補修を実施した。 ・ 深良地先の大比羅橋他 10 橋の補修を実施した。
2023	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2024 年度に予定している東名瀬戸山Ⅱ橋の補修に向けて、工事用道路を築造した。 ・ 田場沢地先の新川橋他 5 橋の補修を実施した。
2024	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東名瀬戸山Ⅱ橋の補修を実施した。 ・ 金沢地先の 3011 号橋の補修を行った。 ・ 橋梁長寿命化修繕計画を改定した。
2025	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東名平林Ⅱ橋の補修を実施した。 ・ 深良川橋他 1 橋の補修を実施した。

3. 今後の方針

- 5年に1度の法定点検を実施し、橋梁の状況の把握に努め、適切な管理を行う。
- 点検の判定に基づき優先順位を付けて、必要な補修等を行う。
- 長寿命化修繕化計画に基づき、必要な補修等を行う。

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類	インフラ資産（上水道）
関係課名	上下水道経営課・上下水道工務課

(対象施設)

総延長約 336 km、水源（井戸）18 箇所、配水池 21 箇所、減圧・調圧槽 9 箇所、減圧弁 14 箇所、緊急遮断弁 18 箇所

上水道の保有量（2021年4月1日現在）

施設類型	種類	保有量
上水道	総延長	約 336km
	水源（井戸）	18 箇所
	配水池	21 箇所
	減圧・調圧槽	9 箇所
	減圧弁	14 箇所
	緊急遮断弁	18 箇所

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- ・ 「裾野市新水道ビジョン」に基づき、計画的な修繕を行う。ビジョンは随時見直しを図る。
- ・ 敷設替え時の管口径サイズの変更などによるダウンサイジングを図る。

2. 取組実績

年度	取組実績
2021	<ul style="list-style-type: none"> ・ 裾野市新水道ビジョン等の計画に基づき施設更新を行った。 ・ 裾野市水道事業基本計画を策定し、全体計画の見直しを行った。
2022	<ul style="list-style-type: none"> ・ 裾野市新水道ビジョン等の計画に基づき施設更新を行った。 ・ 前年度策定の裾野市水道事業基本計画に基づき、施設整備の見直しを図った。 ・ 上下水道事業審議会を開催し、事業経営について審議した
2023	<ul style="list-style-type: none"> ・ 裾野市水道事業基本計画等の計画に基づき施設更新を行った。 ・ 上下水道事業審議会を開催し、事業経営について審議した。
2024	<ul style="list-style-type: none"> ・ 裾野市水道事業基本計画等の計画に基づき施設等の更新を行った。 ・ 上下水道事業審議会を7回開催し、事業経営等について審議した。 ・ 上下水道耐震化計画を策定した。 ・ 水道事業経営戦略（2025年3月改定）を策定した。
2025	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上下水道審議会を7回開催し、事業経営等について審議した。

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 水道施設の強靱化へ向け、老朽化した管路を計画的に更新するために水道事業管路更新計画を策定した。 |
|--|---|

3. 今後の方針

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 市民にとって安全・安心な水道事業実施のため、引き続き計画に基づく施設更新等を行う。なお、必要に応じて計画の修正を行う。・ 上下水道事業審議会にて事業経営等について審議する。 |
|---|

裾野市公共施設等総合管理計画（第2版）施設類型別方進捗管理シート【2025年度実績】

分類	インフラ資産（下水道）
関係課名	上下水道経営課・上下水道工務課

(対象施設)

管径延長 約108km、マンホールポンプ 37箇所（2021年4月1日現在）

下水道の保有量（2021年4月1日現在）

施設類型	種類	保有量
下水道	管径延長	約108km
	マンホールポンプ	37箇所

1. 方針（裾野市公共施設等総合管理計画抜粋）

- ・ 地方公営企業法適用の企業会計であるが、一般会計から繰入金を支出している。一般会計繰出金を抑制し、かつ安定した事業運営を行うために、事業の計画的な執行及び維持管理コストの削減を図ります。また、毎年度上下水道事業審議会を開催し、事業の経営状況を確認・審議すると共に、受益者負担の原則に基づき、適正な下水道使用料を概ね5年ごとに審議し、使用料改定を検討します。
- ・ 2016年度に策定した裾野市汚水処理施設整備構想（下水道アクションプラン）【計画期間：2017～2026年度】に基づき、事業計画区域の未整備区域の内、市街化区域（99.2ha）について整備を進める。
- ・ マンホールポンプ設備は、ストックマネジメント計画に基づき改築事業を行う。管路については、総延長がおよそ100kmあるため、計画的に調査を実施し計画を更新して

2. 取組実績

年度	取組実績
2021	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道アクションプランやストックマネジメント計画に基づき整備した。 ・ 使用料改定により、経費回収率の改善を図った。
2022	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道アクションプランやストックマネジメント計画に基づき整備を行った。 ・ 裾野市汚水処理施設整備構想（下水道アクションプラン）の見直しを実施した。 ・ 上下水道事業審議会を開催し、事業経営について審議した。
2023	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道アクションプランやストックマネジメント計画に基づき整備を行った。 ・ 公共下水道事業全体計画区域見直し検討業務を2023、2024年度の2カ

	<p>年で行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上下水道事業審議会を開催し、事業経営について審議した。 ・ 事業評価監視委員会を開催し、事業の効果について評価を行った。
2024	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道アクションプランやストックマネジメント計画に基づき整備を行った。 ・ 上下水道事業審議会を7回開催し、事業経営等について審議した。 ・ 上下水道耐震化計画を策定した。 ・ 公共下水道事業全体計画区域見直し（2025年3月改定）を行い、これまでの794.36haから481.55haへ大幅に縮小させた。
2025	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水道アクションプラン等に基づき整備を行った。 ・ 上下水道審議会を7回開催し、事業経営等について審議した。 ・ 下水道事業経営戦略を改定し、今後10年間における経営方針を定め、令和9年度から平均16.4%の使用料改定の必要性を示した。

3. 今後の方針

- ・ 市民にとって安全・安心な下水道事業実施のため、引き続き計画に基づく施設更新等整備を行う。なお、必要に応じて計画の修正を行う。
- ・ 上下水道事業審議会にて事業経営等について審議する。